

第96期 中間報告書

2025年1月1日 → 2025年6月30日

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの第96期上半期（2025年1月1日から2025年6月30日まで）の業績および今後の取り組みにつきましてご報告申し上げます。

代表取締役 取締役社長

種市順昭



Q1

当上半期における
業績について教えてください。

当上半期における当社グループ製品の主な需要先であるエレクトロニクス市場においては、スマートフォンの需要が低調に推移したものの、生成AI関連向け需要が好調に推移したことに加え、パソコンの買い替え需要が堅調に推移したことに伴い半導体需要は前年同期を上回りました。

このような情勢下、当社グループは2027年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「tok中期計画2027」に掲げた全社戦略の推進に総力をあげて取り組んでまいりました。

まず、エレクトロニクス機能材料は、生成AI向けの需要増加等を背景にEUVレジストやパッケージ材料の売上が好調に推移したことに加えて、台湾および中国向けの需要が拡大しました。また、高純度化学薬品は、台湾での顧客稼働率の上昇や日本、北米における顧客の新工場稼働による需要拡大により増加しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ168億円増加し1,116億円（前年同期比17.8%増）となりました。

利益面においては、高付加価値製品の売上高増加により、営業利益は前年同期に比べ64億円増加し198億円（同47.6%増）、経常利益も前年同期に比べ62億円増加し203億円（同44.4%増）となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は営業利益の増加に加え、装置事業譲渡に伴う特別利益の計上により前年同期に比べ44億円増加し136億円（同49.0%増）となりました。

Q2

配当金については、いかがですか。

当期の中間配当金につきましては、DOE（連結純資産配当率）4.0%を目途とする配当方針に基づき、前期中間配当金29円から6円増配し、1株当たり35円とさせていただきます。

Q3

通期の見通しについて
教えてください。

下半期においては、世界的に旺盛な生成AI関連需要の増加に加えて、お客様の新工場稼働開始による需要拡大を想定しております。このような想定のもとで、エレクトロニクス機能材料、高純度化学薬品ともに売上高の増加を見込んでおります。

この結果、通期の売上高は前年に比べ260億円増加の過去最高となる2,270億円（前年比13.0%増）、営業利益は前年に比べ69億円増加の400億円（同20.9%増）、経常利益は前年に比べ64億円増加の410億円（同18.7%増）と、営業利益、経常利益ともに過去最高となる利益を予想しております。また、親会社株主に帰属する当期純利益についても、前年に比べ38億円増加の265億円（同16.8%増）と過去最高を更新する見込みです。

株主の皆様のご期待に応えられるようグループ一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社のウェブサイトでは2025年12月期第2四半期決算説明会の模様をご覧いただけます。

当社ウェブサイト

株主・投資家情報

IRライブラリ

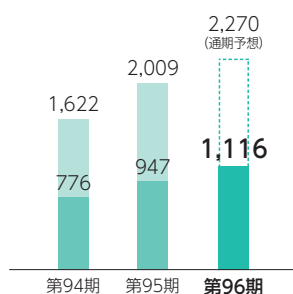
<https://www.tok.co.jp/ir/library/2025>

連結損益計算書の概要

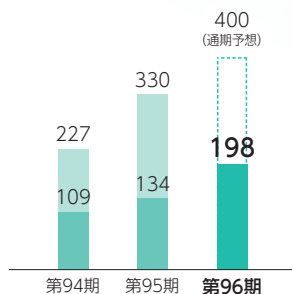
■ 上半期 ■ 通期

(単位：億円)

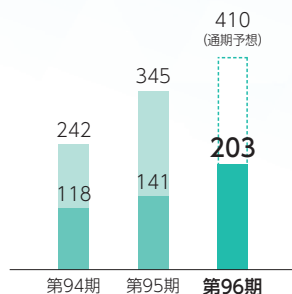
売上高



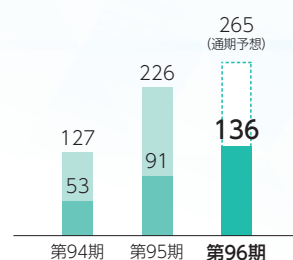
営業利益



経常利益

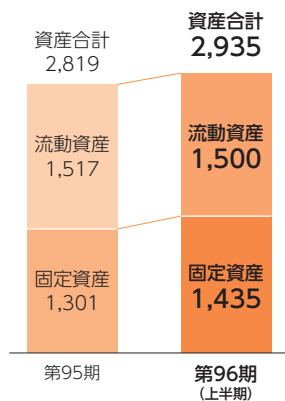


親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益



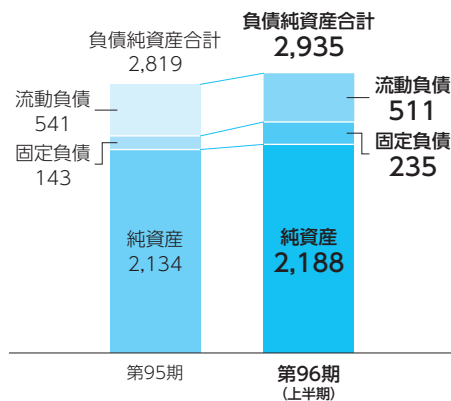
連結貸借対照表の概要

資産の部



負債・純資産の部

(単位：億円)



資産の部

- ・有価証券が減少したことにより、流動資産が減少。
- ・設備投資によって有形固定資産が増加したことにより、固定資産が増加。

負債・純資産の部

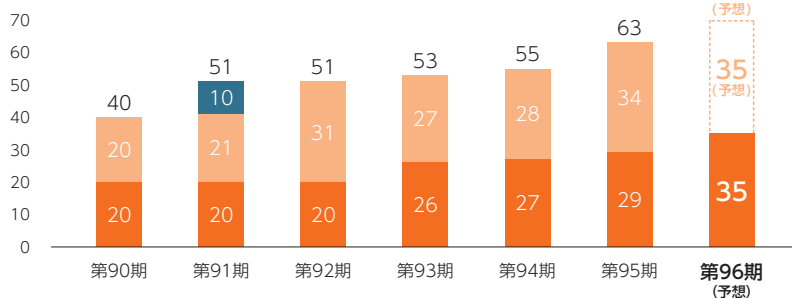
- ・長期借入金が増加したことにより、負債合計が増加。
- ・期末配当金の支払いがあったものの、中間純利益の確保により、純資産が増加。

1株当たり配当金の推移

■ 中間 ■ 期末 ■ 特別配当

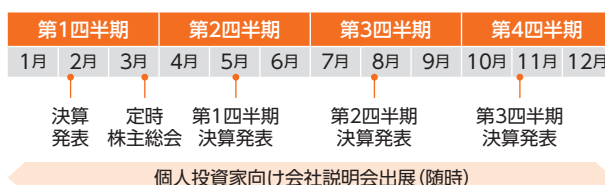
(単位：円)

- * 2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
- * 第94期以前は上記株式分割後の株式数に換算しており、1円以下は切り捨てて算出しております。
- * 第91期の1株当たり配当金には特別配当10円が含まれております。



個人投資家向け会社説明会を開催

当社は、事業戦略・業績などの会社情報を株主や投資家の皆様にご理解いただくために、適時、適正、かつ公平な情報開示を徹底し、積極的なIR活動に取り組んでいます。当上半期は、個人投資家の皆様との対話の場所として大阪、東京、宇都宮、福島で個人投資家向け会社説明会を開催し、多くの投資家様にご参加いただきました。下半期も開催を予定しております。



「2024 TSMC Supply Chain Management Forum」にて 「2024 TSMC Excellent Performance Award」を受賞

当社は、半導体製造の最大手TSMCより「2024 TSMC Excellent Performance Award-Novel Technology Collaboration」を受賞しました。

本賞は、TSMCとの協業において類まれなパフォーマンスを発揮した主要サプライヤー27社を表彰するものです。当社は技術貢献において評価されました。



兵庫県立大学との 連携協力の推進に関する協定の締結

当社と兵庫県公立大学法人兵庫県立大学は、2000年以来、同大高度産業科学技術研究所と共に、半導体微細加工用のフォトレジストに関する研究を行ってまいりました。



2025年1月16日、同研究所との共同研究を拡充することを契機として、連携協力の推進に関する協定を締結しました。

今後は、幅広い分野で人財の育成・交流や研究成果の社会活用等の連携・協力を深め、共に社会課題の解決に向けた取り組みを進めていきます。

「第4回日経統合報告書アワード」 において「優秀賞」を受賞

当社は、日本経済新聞社が主催する「第4回日経統合報告書アワード」において、「優秀賞」を受賞しました。今後も「統合レポート」のさらなる改善・充実に取り組むとともに、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様との対話を通じて、企業価値の向上に努めてまいります。

最新の「統合レポート2024」は当社ウェブサイトにて公開しております。右側の二次元コードからもアクセス可能ですので、ぜひご覧ください。



ドイツ micro resist technology GmbH社の完全子会社化

当社は、micro resist technology GmbH 社（以下「MRT社」）の全株式を取得して完全子会社化いたしました。



MRT社はドイツ・ベルリンに拠点を置き、各種化学材料の開発、製造、販売を行っており、研究開発型企業としての確かな技術力と各国の研究機関との強固な関係性を強みとしております。

今後も「tok Vision 2030」の実現に向けて、欧州市場の顧客に提供するソリューションの拡大と新たな顧客層の開拓を図り、将来的な事業拡大を目指していきます。

韓国子会社における新検査棟竣工 および平澤工場の新設

当社は、連結子会社であるTOK尖端材料株式会社（本社：韓国・仁川広域市）において、製品のさらなる高品質化および生産能力拡大のため、新検査棟を竣工いたしました。



新検査棟(韓国・仁川広域市)

また、同地域において2番目の拠点となる平澤工場を韓国京畿道平澤市に取得した工場用地に建設することを決定いたしました。当該工場では韓国における高純度化学薬品の安定した供給体制の構築に向けて、第1期として高純度化学薬品の製造棟を新設します。新製造棟では最先端半導体製造に求められる高い清浄度を有したクリーンルームエリアを備え、より高品質な製品の製造を実現します。



平澤工場(韓国・平澤市)

当社は2025年1月に中期経営計画「tok中期計画2027」を策定し、強固なサプライチェーンの構築を目指しています。今後、韓国における当社材料の需要を見極めながらエレクトロニクス機能材料の供給能力増強投資も検討していきます。

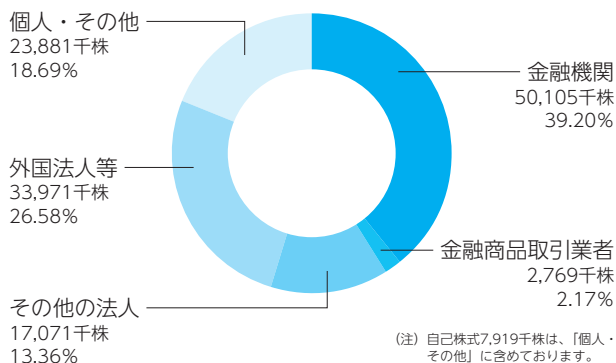
株式の概況

(2025年6月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 500,000,000株
発行済株式の総数 127,800,000株
(自己株式7,919,897株を含む)
株主数 22,061名

所有者別株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,550	14.64
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	8,551	7.13
明治安田生命保険相互会社	5,479	4.57
HSBC - FUND SERVICES CLIENTS A/C 500	3,749	3.13
株式会社三菱UFJ銀行	3,622	3.02
株式会社横浜銀行	3,079	2.57
公益財団法人東京応化科学技術振興財団	2,954	2.46
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,861	2.39
三菱UFJキャピタル株式会社	2,580	2.15
東京海上日動火災保険株式会社	2,572	2.15

(注) 1. 当社は、自己株式を7,919千株保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数(119,880,103株)を基準に算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
基準日
期末配当金 毎年12月31日
中間配当金 毎年6月30日
その他必要ある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先) 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先) 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株
公告の方法 電子公告により行いますが、事故その他やむを得ない事由によりできない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(公告掲載URL)
https://www.tok.co.jp/company/public_notice.html

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場
証券コード 4186

ご注意

- 住所変更、単元未満株式(100株未満の株式)の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においても取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、当社定款の規定により、支払開始日より満3年を経過いたしますとお受け取りいただけませんので、お早めに最寄りの三菱UFJ信託銀行本支店でお受け取りください。

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
	証券会社等の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式
■単元未満株式の買取・買増請求 ■住所・氏名等のご変更 ■配当金の受領方法の指定(注) ■マイナンバーに関するお届け・ご照会	口座を開設されている証券会社等	左記の特別口座の口座管理機関
■特別口座から一般口座への振替請求 ■支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■株式事務に関する一般的なお問い合わせ	左記の株主名簿管理人	

(注) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として「株式数比例配分方式」はお選びいただけません。



IRメール配信を行っています。ぜひご登録ください。 <https://rims.tr.mufig.jp/?sn=4186>



<https://koekiku.jp>

アクセスキー

株主アンケートにご協力ください

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネックスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp

tok 東京応化工業株式会社

〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子150番地
電話 044-435-3000(代表)



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。